

東日本大震災 人材派遣

救急・消防隊員の派遣

第5次緊急消防援助隊北海道隊派遣

3月24日～31日 宮城県石巻市



水が引かない状況での捜索活動（平成23年3月27日）



石巻総合運動公園の支援活動基地（平成23年3月29日）

被災地では、自然の驚異に人間の無力さを感じましたが、同じ使命を持つ道東救急隊として音更救急隊と連携し、避難所等から医療機関までの搬送業務にあたりました。

活動中には、市民の方々から深々とお辞儀をされる場面があり、少しでも石巻市民のためにとの気持ちが一層強くなりました。

根室市では、今後30年以内に震度6弱クラスの地震が起きる確率は63.9%とされています。地形的な利点を生かし、「すぐ高台に避難する」という、普段からの意識付けが必要と感じました。岩手県に古くから伝わる「津波てんでんこ」の諺のとおり、地震が起きたらすぐに避難行動が取れるように、家庭レベルから防災教育を行っていくことの大切さを知った派遣となりました。



根室市消防署
横山 博昭 消防司令補

派遣者

根室市消防署

横山 博昭 消防司令補
成田 友季 消防士



根室市消防署
太田 昭彦 消防司令補

派遣者

根室市消防署

大友 光浩 消防司令
吾妻 秀一 消防司令補
太田 昭彦 消防司令補
吉田 公夫 消防士長
穂元 昇 消防士長

第12次緊急消防援助隊北海道隊派遣

4月20日～28日 宮城県石巻市



河川敷に打ち上げられた漁船の捜索（平成23年4月25日）



がれきが除かれた土地を掘り起こしての捜索（平成23年4月25日）

第12次緊急消防援助隊北海道隊の「消火部隊」として、宮城県石巻市へ消防ポンプ車1台、隊員5名で捜索活動に行ってきました。

緊張と不安、そして使命感の中、現地に着し目に入ってきた光景は、新聞、テレビ等で見た光景そのものでした。実際この目で見た衝撃は計り知れないものがあると同時に、全力を集中し活動に当たらなければという気持ちになりました。

被災地では、釜谷地区（大川小学校付近）を中心に行方不明者の捜索活動に行ってきましたが、残念ながら発見することはできませんでした。

今回の震災で多くの人たちが被災されている中、帰根することは大変心残りでしたが、被災された方々の1日も早い復興を願い、被災地を後にしました。